

2022年
新年の
ご挨拶

より広く深く、仲間とつながり、 地域共生社会の実現を

2022年度の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されるなかで、新しい年を迎えることになりました。昨年は、新型コロナウイルスの感染第3〜5波の影響により、会員のみなさまのご所属施設では感染防止対策への取り組みに追われる1年になったことと思います。日本精神科看護協会の本部・支部の事業活動もオンラインが中心となった1年でしたが、会員のみなさまには、ご理解とご支援を賜り誠にありがとうございました。昨年のお正月は第3波の影響により、県外への帰省を自粛された方が全国的に多かったと思いますが、今年のお正月はいかがでしたでしょうか。

さて、本年も引き続き新型コロナウイルス感染防止対策が優先される場面が多いと思いますが、コロナ禍3年目を迎えた2022年度は、「ウィズコロナ時代」に向けた取り組みを推進することが求められます。日本精神科看護協会主催の学会集会や研修会などに導入したオンライン配信は、今後も継続学習支援の効果的な手段として、併用できるように考えていきます。コロナ禍で加速した医療・看護現場でのICT化は、学習面に限らず「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」で求められている、病院と地域との連携場面においても期待されることです。令和2(2020)年度診療報酬改定では、精神医療の分野においても情報通信機器を用いたカンファレンスが一定程度認められるようになりました。ICT活用による地域の事業所や関係機関とのカンファレンス、ケア会議の開催を進めることで、これまで地域で開催される会議に出向くことが難しかった病棟看護職も、地域支援者との顔の見える関係づくりを実現することが可能になります。日本精神科看護協会としては、厚生労働省などに働きかけて、現場での

ICT活用をさらに推進していきたいと思っています。

そして、2022年度も継続して、全国の精神科看護職の倫理的課題の解決に向けた取り組みを推進していきます。2021年度には「精神科看護職の倫理綱領」を改正し、会員の皆さまに「精神科看護職の倫理綱領とモヤモヤMEMO」をお届けいたしました。精神科看護職の倫理綱領は、私たちの指針であると同時に、精神科看護を正當に評価してもらうための社会への意思表示でもあります。そのことを全国の精神科看護職と共有し、だれから見ても安心・信頼できる日本の精神医療・看護を築いていきたいと思っています。ただし、この思いを実現するためには、すべての精神科医療機関に仲間を増やすことが必要です。2022年度は、会員となる仲間を増やし、現場と日本精神科看護協会が一体となって取り組みを推進してまいりますので、みなさまの応援をよろしく願います。

日本精神科看護協会の本部・支部では、精神科看護職の教育事業をはじめ、こころの日の活動や、政策提言に向けた取り組みなどを行っています。2022年度には新たな取り組みとして、精神科看護職のクリニカルリーダー、特定行為研修制度を導入していきます。こうした取り組みは、日本精神科看護協会の活動理念、「こころの健康を通して、だれもが安心して暮らせる社会をつくります。」を実現するための活動です。2022年度からは、これまで私たちが取り組んできた活動の成果を、国民に広く還元できるようにしていきたいと考えています。日本精神科看護協会と会員である精神科看護職が、日本国民の「こころの健康」を守る立場であること、「地域共生社会」の実現に貢献する存在であることを、具現化する1年にしていきたいと思っています。そのために、本年もご支援のほどよろしく願っています。



会長 吉川隆博





わたしの
お気に入り
を紹介します！

うちの職場、

三重県・医療法人宝会七宝病院・
笑い男さん

食堂の食事がとてもおいしく、ボリューム満点！毎回の食事で癒やされます。



院内研修が
充実しています！

大阪府・特定医療法人
大阪精神医学研究所新阿武山病院・
教育委員さん

当院では経験年数に合わせた院内研修が充実しているのが自慢です。たとえば、倫理については看護部・事務部・医療福祉部など複数の部署の視点から年6回の講義を組み、ハラスメント防止に関しては外部講師を招いて研修を行っています。

また、研修に参加できなかったスタッフのために、各部署から参加した代表者が研修内容をまとめて朝礼や会議で発表する「伝達講習」も定着しています。

2022年には、新型コロナウイルス感染症の影響で実習を経験できなかった新人が入職してきます。日精看から得られる情報や知識も活かしながら院内研修をより進化させ、「入ってよかった！」と思ってもらえる職場にしたいと思います。

体育館が
広くてきれいです！

北海道・
医療法人社団大蔵会札幌佐藤病院・アディーさん

開院以来ずっと続けている入院患者様やデイケア利用者様を対象としたクリスマス会、体育会などの行事のほか、職員の勉強会などに活用されています。

うちの**病棟レク**は日本一です！

新型コロナウイルス感染症の流行により、当院でも外出外泊の制限や家族との面会制限が始まりました。そのころ、閉鎖病棟という、もともと制限が多い環境のなかで、「少しでも患者さんが喜ぶことができなにか」と病棟スタッフで話し合いを重ねてきました。その結果、「コロナに負けるな！患者さんも、スタッフも楽しい病棟レクをやるぞ！」というスローガンのもと、2021年1月からプロジェクトが始動。病棟スタッフがメインとなって、感染対策を行ったうえでの病棟レクを企画・運営し、作業療法士や病棟医とも連携しながら継続しています。

夏には病院の庭で夏祭り&盆踊り大会を開催。焼きそばやフランクフルト、かき氷などたくさんの模擬店を出店しました。会場ではスタッフが懐かしの「ドリフターズ」のダンスを披露し、その様子を鑑賞していた患者さんも楽しそうな笑顔を見せてくれました。

秋には病棟ホールで運動会を開催したところ、パン食い競争が大盛り上がり。新型コロナウイルス感染症によってさまざまな制限は続きますが、当院の病棟レクははじめに掲げたモットーを大切に継続しています。

病棟レクの日には、その月に誕生日を迎えた方を祝う誕生日も一緒に開催しています。誕生日の患者さんには、手づくりのバースデーカードを受け持ちスタッフが心を込めてつくるといった新しい習慣も生まれました。

病棟レクを月1回、看護部主体で実施するようになって、職場にいい変化がいくつも生まれています。まず、患者さんが「来月は何か？」と少し先の楽しみを口にされる様子が見られるようになり

青森県・一般社団法人慈恵会青い森病院・小田桐祐子さん

ました。企画・運営する病棟スタッフたちの表情も変わりました。レクに使う物品の準備など、時間をつくっては声かけて協力しあい、以前よりチームワークがよくなったと感じています。

ピンチをチャンスに変えて、これからもスタッフ一同で力を合わせ、患者さんの笑顔を増やせるケアに取り組んでいきます！



患者さんもスタッフも笑顔になる手づくり病棟レク。夏祭りには、師長や主任が青森ねぶた祭の衣装を着て「ドリフターズ」のダンスを披露。(患者さん・スタッフから写真の掲載許諾をいただいております)

ココが自慢です!



ワークライフバランスの取り組みが自慢です

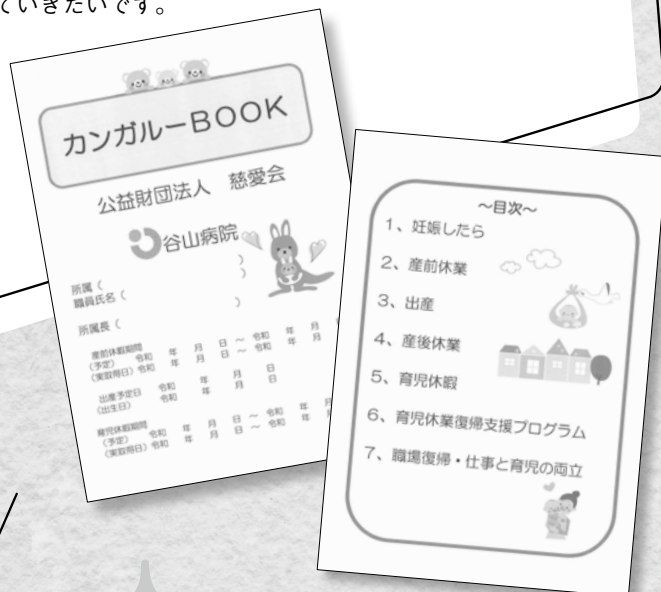
鹿児島県・公益財団法人慈愛会谷山病院・中園明子さん

当院の自慢はたくさんあるのですが、特に自慢したいのはワークライフバランス(WLB)委員会の取り組みです。もともとは2015年から3年間かけて取り組んだ日本看護協会関連のプロジェクトがきっかけでしたが、プロジェクトが終了した後院内で独自の委員会を継続させ、また、看護部だけでなくほかの職種も巻き込んで院内全体の取り組みへと発展させました。現在も、事務員、心理士、栄養士など9名で構成した委員会でのミーティングを月1回実施しています。委員会といっても、堅苦しくなく和気あいあいと明るい雰囲気です。

WLB委員会の役割としては、子育てや介護などライフイベントを迎えたスタッフも働きやすく、多様なキャリアを活かして活躍できる環境をめざして、積極的な情報発信に力を入れています。特に、妊娠・出産に向けた準備について、わかりやすく整理してまとめた冊子「カンガルーBOOK」は好評で、外部からもお問い合わせをいただきました。ワークライフバランスの啓発を目的としたポスター掲示や川柳募集などの企画も行っています。

また、働きやすさに関する6項目を聞く院内調査を、全職種を対象に実施しています。調査結果を全国平均と比べたところ、「経営組織」や「労働環境」については相対的に良く、「自己評価」には課題があるという傾向がわかりました。このように客観的なデータにもとづいて改善を重ねていくことで、ますますワークライフバランスの質を高められるはずですよ。

このような取り組みが奏功してか、新人離職率は11年連続でゼロを記録しています。これからも職場環境をポジティブに変える文化を大切にしていきたいです。



スタッフの多様性と師長のリーダーシップが自慢です!

くららさん

当院の精神科病棟に入院している患者さんの多くは、認知症をもつ高齢者の方々です。病棟の特徴は、隔離や身体的拘束を一切していないことで、「安心して、自分らしく、楽しい生活を!」をモットーに、質の高い精神科看護・認知症看護の実践をめざしています。

また、当院には精神科以外にもさまざまな診療科があり、整形外科や一般内科、回復期リハビリテーション分野で経験があるスタッフが、精神科でもそれぞれの能力を発揮して活躍しています。リハビリテーションにも力を入れており、病棟ではPT・OT・STも協働して患者さんへのケアにあたっています。

それだけではありません。とてもいい意味で、スタッフのクセが強く、多様な強みをもった仲間たちに恵まれています!

ケアに携わる看護・介護スタッフは20代～70代と年齢も幅広く、出身地もフィリピン、ベトナム、中国、日本と、多様性に富んでいます。そんな個性豊かなスタッフたちを束ねているのが看護師長のAさん。その統率力たるやすさまじく、困難なときほど笑顔を決やさず、雰囲気が緩んでいるときは厳しい態度でチームをまとめてくれるリーダーです。スタッフ同士、ときにははづっかりあい、泣いたり、笑ったり、愚痴ったり。険悪な空気が漂ったかと思えば、翌日のナースステーションは笑い声で満たされたり。コロナ禍では困難なこともありましたが、働くみんなのモチベーションを維持できるよう、楽しく働ける環境をつくってくれる。そんな師長が、実は一番個性的なのです! このチームで働けていることが私の自慢です。



大阪府・社会医療法人北斗会さわか病院・oliveさん

福利厚生がしっかりと充実しています。有給休暇が取得しやすく、勤続年数に応じてリフレッシュ休暇もいただけます。



いまさら聞けない!

新連載
第1回

診療報酬

ニュースや経営の話では、よく話題にのぼる診療報酬。でも、普段のケアの中では、なかなかなじみがないのではないだろうか。

いまさら聞きづらい基本的な仕組みから計算方法etc……、この機会に、4回にわたっていいにお伝えします!

「基本の「き」から教えます!」



草野 仁史
日本精神科看護協会
業務執行理事

■ 診療報酬の評価の基本的な仕組み

日本ではケガや病気になったときのために、定められた負担割合で医療を受けることができる国民皆保険制度が導入されています。この制度によって私たちは、保険証を提示すれば必要な医療行為(治療や処方など)が受けられます。利用した医療行為に対して、医療機関に保険制度から支払われる対価が「診療報酬」です。診療報酬には治療で使用した医療器具や薬剤だけでなく、医師や看護師等の人件費、施設維持や管理費用も含まれています。つまり、ハード面とソフト面の両面で適正な医療が提供できるように報酬が支払われます。

診療報酬は、医療の進歩や世の中の経済状況とかけ離れないように2年に一度の改定を行っており、今年がその改定年になります。診療報酬改定は、政府が決めた改定率にもとづいて、厚生労働大臣が諮問機関である中央社会保険医療協議会(中医協)に意見を求め、中医協の調査・審議を経て、同大臣が決めています。中医協の構成員は、医師・薬剤師等を代表する委員、健康保険などの保険者並びに被保険者などを代表する委員、学者などの公益を代表する委員の三者構成になっており、さまざまな立場の人が不利益を被らないような審議ができるようになっています(図1)。

診療報酬の評価の仕組み自体はとても単純なもので、「技術・サービスの評価」と「物の価格評価」の2つに分けられます(図2)。

「技術・サービスの評価」に関する報酬は、診察を受けたり入院したりする際に支払われるもので、入院日数などによって支払われる報酬が変わってきます(基本診療料)。もう一つは病院にかかって

注射をした、手術を受けた、精神療法を実施したなど、具体的な医療行為に対して支払われる報酬で、これも医療行為の内容によって支払われる報酬が変わってきます(特掲診療料)。私たち看護職が提供している看護行為は「技術・サービスの評価」の中で評価されていますから、医療機関にとって看護職の存在はとても大きなものといえるでしょう。

図1 診療報酬改定の構造

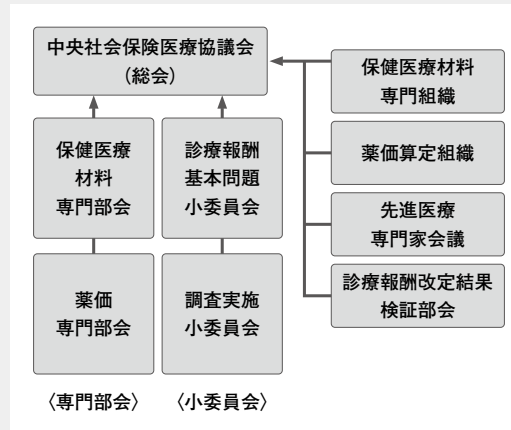
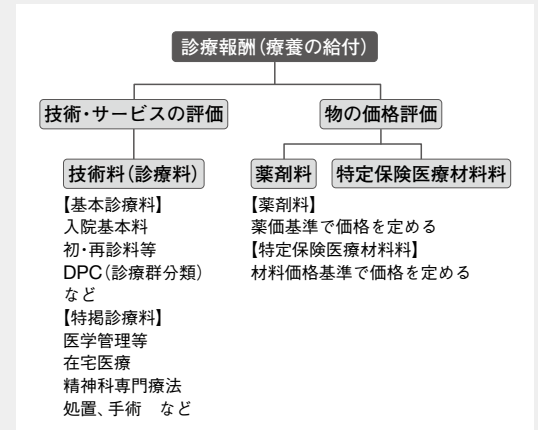


図2 診療報酬の仕組み



●次回は、診療報酬で決められている具体的な公定価格や計算方法などについてご紹介します。

| 連載 |

密着!! 目精看版ラダー導入への道

何から始める?
どう進める?

この連載では、所属施設に「精神科看護職の臨床ラダー」を導入しようと考えた、医療法人北仁会石橋病院(北海道小樽市)の副看護部長である岩代純さんが、臨床ラダー導入までの道のりをタイムリーに報告します。

ラダー導入について部長、師長、主任と検討し、みんなが納得できる導入の目的が必要であるという話になりました。今回は、石橋病院のラダー導入の目的をご紹介します。

第5回

石橋病院の臨床ラダー導入の目的

「みんなが納得できる臨床ラダー(以下、ラダー)導入の目的」の明確化にあたり、病院の理念、看護部の理念をもとに看護部の教育方針を整理し、当病院の教育や人材育成の課題をもとにラダー導

入への期待を込めて目的を明文化しました(作成の過程は右図を参照)。今後、導入を進めていく過程や、導入後に迷ったり、方向性を見失いそうになったときの拠り所になりたいと思います。

● 石橋病院の「精神科看護職の臨床ラダー」導入の目的

現在の当院の教育は卒後数年間の基礎研修に重点を置き、その後の研鑽は自主性に委ねています。そのため、スキルアップをめざして自主的に学ぶ人と、そうでない人との間には、看護実践力に差が出てしまいます。また、学歴、資格、知識、経験など看護職の背景は多様化しており、さらに社会情勢の変化やケア方法の進化により、社会から求められる精神科看護職の役割や組織から求められる能力も変化します。そのため、特に中堅の看護職には院内外での学習を継続的に行うことにより専門性を高め、リーダーシップを発揮できる人材となるよう成長を支える環境が必要です。

臨床ラダーは現場での看護実践に必要な能力が段階的に表現され、その到達度ごとに看護職の能力が示されています。私たちが精神科看護のプロフェッショナルとして成長し続けるうえでは、その指針となる臨床ラダーの導入が必要であると考えます。

「精神科看護職の臨床ラダー」の導入により、看護実践の場や看護職の背景にかかわらず、すべての看護職に共通する看護実践能力の強化を支援します。また、看護実践能力の適切な評価により看護の質を保障し、最終的には看護の対象である患者・家族に安心・安全で優しさあふれる看護を提供できるようにします。

語り手



岩代 純
医療法人北仁会石橋病院
副看護部長(教育担当)、精神科認定看護師
北海道支部教育委員長

● 図「ラダー導入の目的」作成の過程 ●

- ①教育・人材育成の課題を共有
- ▼
- ②ラダー導入に関する意見交換
- ▼
- ③病院・看護部理念をもとに看護部の教育方針を作成
- ▼
- ④ラダー導入の目的を文書化
- ▼
- ⑤師長・主任会で内容を精査
- ▼
- ⑥修正
- ▼
- ⑦完成

●次回予告「精神科看護職の臨床ラダー」導入の工程表づくり～進め方をイメージする～

▲
日精看
しごとを
つくろう
プロジェクト

新年のお買い物は しごつくのカタログで!

生活介護事業びーと
(北海道)



うらやすガラス幸房
(岡山)



たぬき工房(千葉)



ナースシューズ、ユニフォーム、
カーディガン、業務で役立つアイテムが豊富に
そろった通販カタログ「アンファミエ」でお買い物を
するだけで、精神障がい者が働く事業所の
支援になります!



最新
カタログ

最新カタログは今月の『ナース・
スター』と一緒に、会員施設にお届け
しています。

しごつくアンバサダーを募集しています!

「しごつくアンバサダー」とは、2013年11月より実施している、日本精神科看護協会と株式会社ナースステージの共同企画「日精看しごとをつくろうプロジェクト」の趣旨を深くご理解いただき、積極的な参加による応援を継続的に行ってくださいという会員の皆さまのことで。自薦・他薦、いつでも受け付けております! 日精看までご連絡ください。

注文1回ごとにプレゼント!
お楽しみギフトも好評です

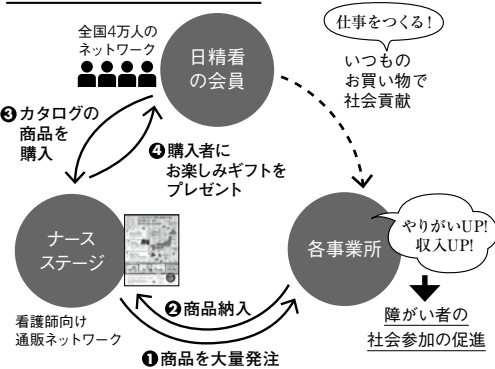
日精看 しごとをつくろうプロジェクトにご参加ください!

2013年11月より始動した「日精看 しごとをつくろうプロジェクト」が、おかげさまでこの秋に8周年を迎えました! 精神障がい者の自立支援を目的に始まった当プロジェクトは、通信販売でおなじみの株式会社ナースステージの協力のもと、普段の買い物を通じて、当事者の方々が希望する「しごと」をつくるというこれまでなかった新たな仕組みで展開してきました。

精神障がい者が自立をめざして働く事業所の商品を大量に発注してナースステージが買い取り、お買い物の特典としてカタログ利用者に還元するという仕組みは、「かわいい特典をもらえてうれしい!」「精神障害の方々に応援できる」と好評をいただいています。

※株式会社アンファミエは、社名を株式会社ナースステージに変更しました。

無理なく楽しく社会貢献の輪



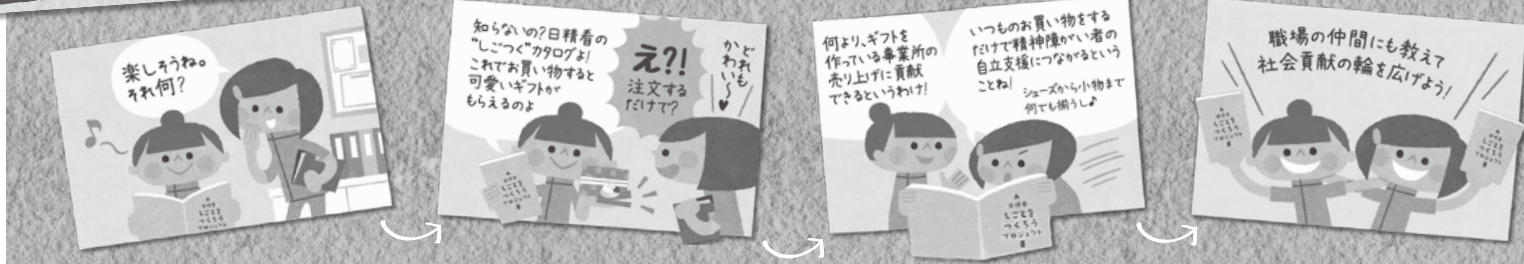
しごつく版「アンファミエ」
最新カタログで
お買い物をするだけ!

カタログは「ナース・スター」と一緒に各施設にお届けしています。カタログの追加をご希望の場合は、送付先、氏名、希望冊数をご記入のうえ、件名を「カタログ希望」として、nursingstar@m-s-com.comまでメールをお送りください。数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。



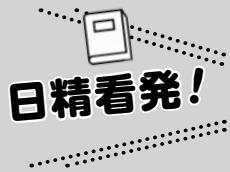
※表紙写真はバックナンバーの一例です。

今さら聞けない「しごつく」って?!



“しごつく”の
すべてが分かる
動画を公開中!





Action & Report!

日精看の取り組みを中心に、
さまざまな出来事や話題を
ピックアップして詳しくご報告します。

●令和3年度 第2回 看護政策委員会要旨

日時：令和3年10月5日(火) 18:30～19:30
開催方法：オンライン会議 議長：奥山 修 委員長

【検討事項】

- 令和4年度政策調査事業助成金調査課題とスケジュールについて、次年度に向けた要項等の見直しを行った。
- 本調査は看護政策としての調査という性質をもつものの、患者および家族のために寄与できる調査であることが大前提である。要項等の目的並びに調査課題についても、その方針が具体的に記載された内容に見直す予定。
- 次年度の調査課題は、「看護外来」、「認知症治療病棟」の実態調査に決定した。
- 次年度より、公募開始を2月とし、3月に結果発表のうえで、4月より1年間の調査予定に変更した。

●令和3年度 第2回 総務委員会要旨

日時：令和3年11月6日(土) 10:00～12:00
開催方法：オンライン会議 議長：窪田澄夫 委員長

【検討事項】

- 各支部における看護部長会開催状況調査をもとに、今後の看護部長会の在り方を検討した。
- 会員、所属施設、看護管理者と支部役員、協会本部役員のつながりを大切に、今後の日精看の活動を強化する必要性などについて意見が出された。
- 代議員制度導入について、全国支部事務局長会議で出された意見を配慮したうえで、導入の方向で制度設計することとした。

【報告事項】

- 豪雨災害被災状況として、佐賀県支部より会員2名の被災について報告があった。

●令和3年度 第2回 こころの健康推進委員会

日時：令和3年10月18日(月) 17:30～18:30
開催方法：オンライン会議 議長：西岡由江 委員長

【検討事項】

- こころの健康出前講座の支部運営に関する課題整理と運營業務の見直しについて検討を行った。
- こころの健康出前講座を地域で活用してもらうためには、支部がスムーズに啓発活動を行うことができる統一された仕組みが必要である。
- 運営協力金等の手続きに関しては、依頼者の事務手続きによっては複雑になる場合がある。出前講座等の社会貢献活動に関しては、社会的な実情に即した事業体系に見直す必要がある。
- 講師の選定に苦慮している状況が見受けられるため、支部主体で講師を選定し、依頼者のニーズに即した活動が継続できるように、講師選定および派遣の方法について見直す必要がある。

●令和3年度 第4回 教育認定委員会要旨

日時：令和3年11月13日(土) 13:00～17:00
開催方法：オンライン会議 議長：榊 明彦 委員長

【検討事項】

- 令和4年度研修会の計画について、内容の精査を行い、承認された。
- 看護研究助成論文の採否を検討し、2題を採用とした。また、第47回全国大会のプログラム内容を検討した。
- 第16回精神科認定看護師受講資格審査の合否判定を行った。また、令和4年度精神科認定看護師教育課程、第26回精神科認定看護師認定試験の実施方法、精神科認定看護師の更新における活動実績ポイントに関して検討した。

【報告事項】

- 継続教育部会、学術集会部会、精神科認定看護師制度部会、特定行為研修制度部会からの報告があった。

東洋羽毛 PRESENTS

これが自慢! (全国発) 日精看支部紹介

全国47道府県の日精看支部から、「うちの支部はここがスゴイ!」という活動内容、ご当地ならではのグルメ、お土産のご案内まで、元気なレポートを紹介します。

今月の
支部

富山県支部
[会員数:124人]



お話 / 吉田政人 支部長

支部長の自己紹介

現在、富山県の最も東に位置する入院病床をもった精神科単科の病院、魚津神経サナトリウムで看護部長として勤務しています。時が経つのは早く、来年4月には勤続25年となります。

「人のためになる仕事をしたい」と看護の道に飛び込み、勤務の傍ら看護学校へ通い看護師資格を取得したのがつい先日のことのようです。四半世紀経った今でも日々、精神科

看護の奥深さに魅了され、その難しさややりがいを実感しながら邁進しています。

趣味はマラソンです。今回は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった「富山マラソン」も、次は開催できそうなので期待大です。タイムは4時間の壁が厚く、苦戦しています。

富山県支部が大切にしている ポリシーや強み

富山県支部として力を入れているのは、「ニーズに合った情報発信」です。会員の皆さまや社会に向けて、日々進化する精神科領域の何をどう発信するべきかを常に念頭におきながら、研修会の企画運営に取り組んでいます。また、行政との連携にも力を入れており、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」での県の密着アドバイザーとして圏域全体にかかわっています。こういった活動を通じて日精看のアピールにつなげています。

富山県支部主催の研修会、 イベントなど

富山県は、県庁所在地の富山市へは県内どこからでも車で1時間ほどで集合できるという地の利があります。今年度は会員の皆さまから「集合型の研修会を開催してほしい」という要望を多くいただき準備も進めていきましたが、残念ながら中止を余儀なくされたものもありました。研修会は現場のニーズが多い「初任者研修」や「SST研修」などの企画に積極的に取り組んでいます。

富山県を訪れたときにおすすめの スポット、お土産、ご当地情報など

富山県はなんといっても日本酒と魚の美味しさが自慢です。ブリや白エビ、ホタルイカ、紅ズワイガニなど、県内のどこでも美食が堪能できます。世界遺産の相倉合掌作り集落、黒部深谷や「ハンサム大仏」として有名な高岡大仏など、観光スポットも目白押しです。

上質な暮らしは、上質な眠りから
東洋羽毛

睡眠健康指導士が教える
気になる「眠り」の
キーワード

今月のキーワード

“「寝床内環境」を整えよう”

寝床内環境とは、睡眠中に体を包み込む布団の内側の環境のこと。この環境を快適に整えることが、睡眠の質を高めるために重要に。ポイントは温度と湿度で、「温度33℃(±1℃以内)、湿度50%(±5%以内)」が最適とされています。特に気温が下がりやすい冬には、布団の内方で温度差が出過ぎないように工夫しましょう。

お問い合わせ先 / お客様相談室
TEL 0120-410840

提供 / 東洋羽毛工業
<https://www.toyoumo.co.jp>

News & Information

2022.1

学術集会

第47回 日本精神科看護学術集会(全国大会)開催のお知らせ 業務改善報告・実践報告など大募集!!

会期等
変更あり!

長きにわたり中止やオンライン開催を余儀なくされてきた学術集会ですが、2022年は2年ぶりの現地開催をめざし、鋭意準備を進めています。感染対策に十分留意して2日間の日程で実施しますので、奮ってご参加ください。なお、新型コロナウイルスの感染状況により変更の可能性がございます。ご了承ください。

一般演題A

◎演題登録期間:令和3年12月1日(水)
～令和4年1月31日(月)

■実践報告

例:ケアの振り返りをまとめた事例報告

■業務改善報告

例:現場の工夫や病院の取り組みの報告

◎一般演題Aの「実践報告」「業務改善報告」の発表は、抄録1枚で演題登録が可能です。

(オンライン登録)詳細はこちらから。

<http://jpna-gakujutsu.jp/zenkoku/navi/>

※投稿者・発表者は、会員に限らせていただきます。

※全国大会で応募可能な演題区分は「実践報告」と「業務改善報告」のみです。

「看護研究発表」は推薦演題(支部推薦)のみの受け付けとなります。

会場:沖縄コンベンションセンター(沖縄県宜野湾市)

会期:令和4年6月24日(金)～6月25日(土)

*今回は2日間に短縮します。また、総会は学術集会の会期中ではなく、別日程で開催します。

参加費:会員 13,200円(税込)

非会員 24,200円(税込)

一般演題B

◎演題登録期間:令和4年1月1日(土)
～1月31日(月)

※「ワークショップ」「交流セミナー」の応募が可能です。

※(<http://jpna-gakujutsu.jp/zenkoku/navi/>)より募集要項、応募用紙をダウンロードしてご記入のうえ、メール(gakkai@jpna.or.jp)に添付してお申し込みください。

※会期の短縮および会場の都合等により、通常よりも演題数が限られる場合がございます。

診療報酬改定説明会

令和4年度 診療報酬改定説明会を開催します

今年度は診療報酬改定が行われます。『ナースング・スター』12月号ではオンデマンド配信をご案内しましたが、会員の皆様のご要望を受けて、対面形式とオンデマンドの2種類の説明会を開催することにいたしました。申込開始日と参加費用はどちらも同じ日程と金額になります。協会ホームページからお申し込みください。

申込開始:令和4年1月11日(火)

参加費:会員3,300円(税込)

非会員6,600円(税込)

【プログラム】

説明会では、精神医療・看護の改定内容とポイントなどを、どこよりも詳しく、そしてわかりやすく解説します。

第1部:令和4年度診療報酬改定の概要

講師 厚生労働省保険局医療課 課長補佐

第2部:精神医療・看護に係る改定背景とその経緯

講師 日本精神科看護協会 会長 吉川隆博

【対面形式】

開催日:令和4年3月12日(土) 10時～12時

定員:50名

会場:日本精神科看護協会 東京研修会場

※対面形式をお申し込みの方は、オンデマンドもご利用いただけます。

【オンデマンド】

配信開始日:令和4年3月19日(土) 13時から配信

配信期間:配信開始日から2週間ご視聴いただけます。

定時総会

役員選挙の告示について

令和4年6月に開催する令和4年度定時総会において、3名の役員選挙を実施します。当協会の定款および役員選出規程では、役員選出に関して、立候補および理事会推薦をもって候補者とするを規定しています。立候補される方は、令和4年2月末日までに様式1、様式2を当協会HP「WHAT'S NEW」協会からのお知らせ」よりダウンロードして、協会事務局まで郵送してください(当日消印有効)。

*様式1、様式2に関しては、必要事項が記載されていれば、書式は問いません。

会員各位

一般社団法人日本精神科看護協会

会長 吉川隆博

役員選挙の告示

一般社団法人日本精神科看護協会は、定款ならびに役員選出規程に基づき、役員を選出する選挙の実施につきまして、下記の要領にて行うことを告示します。

立候補される会員の方は、当協会ホームページから所定の様式をダウンロードして、当協会事務局まで郵送にて届け出てください。

記

- 1.役員選出人数:3名
- 2.役員任期:2022年定時総会から2023年定時総会
- 3.立候補の受付期間:2022年1月1日から2月28日

●役員選出スケジュール

2月末 立候補の締め切り 3月末 理事会推薦の決定

5月 総会議案書で提案 6月 定時総会

様式1(立候補届)

立候補届

一般社団法人日本精神科看護協会会長殿

私は一般社団法人日本精神科看護協会理事(監事)に候補者として立候補いたしますのでお届けいたします。

年 月 日

氏名

会員番号

住所

勤務先

所属支部

勤務先での職責

※以下の記述は任意です。

<職歴や協会における経歴、立候補にあたっての抱負などをお書きください(600字以内)>

<候補者を推薦する人や団体がある場合には以下を任意にお書きください>

・推薦する方の氏名もしくは名称 ・推薦する方の職責、協会における経歴等 ・推薦理由(150字以内)

様式2(公益法人の役員の欠格条項に該当しないことを表明する書面)

表明書

一般社団法人日本精神科看護協会会長殿

私は、公益社団法人及び公益財団法人法第6条第1項第1号イ、ロ、ハ、ニのいずれにも該当しないことを表明します。

年 月 日

氏名

住所

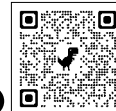
アート写真コンテスト

「第7回 わたしが見つけた!」 アート写真コンテスト」 作品募集中!

12月1日から、「第7回わたしが見つけた!」アート写真コンテスト」の作品募集が始まりました。今年も、募集開始よりたくさんのご応募をいただいています。

みなさんが日ごろかかわっている患者さんや利用者さんに、ステキな写真を撮っている方はいませんか。ステキな作品を「見つけ」たら、ぜひご応募ください。

募集期間は令和4年3月31日まで。詳細は協会ホームページをご覧ください。



応募はこちらから▶

看護管理者の部屋

日精看ホームページの人気コーナー「看護管理者の部屋」をぜひご活用ください。「精神科看護管理ニュース」や診療報酬改定に関する資料をご覧ください。www.jpna.jp



研修会

医療安全推進フォーラムを開催しました！

厚 生労働省は11月25日を含む前後1週間を医療安全推進週間と定めており、当協会でもそれに合わせて医療安全推進フォーラムを開催しています。今年度も新型コロナウイルスの感染防止の観点からWeb開催(ライブ配信・オンデマンド配信)とし、全国から80名の方にご参加いただきました。

今年度のテーマは「ノンテクニカルスキルの基本～安全な医療チームの構築をめざして」として、愛知医科大学病院の医療安全管理室にご所属の小林美和先生にご登壇いただきました。

ノンテクニカルスキルは、人間と人間の関係性を重視した認知的、社会的なスキルのことで、その内容からヒューマンスキルとも呼ばれています。ノンテクニカルスキルの対義語はテクニカルスキルで、専門的な知識や技術、技能(医療の場合は医療知識や医療技術)を指す言葉として使われています。

講演の冒頭で、「いまはVUCA時代*といわれ、そのなかでも私たち専門職には柔軟性や堅牢性、信頼性が求められている」というお話がありました。昨年度に続き今年度も新型コロナウイルスの感染拡大に日常が脅かされる事態になり、まさに、先の見えない曖昧で悶々とした状況のなかで、私たちは安全な医療の提供のために最善を尽くしてきました。

した。

安全な医療の提供にはチームのノンテクニカルスキルを上げていくことが重要です。今回のフォーラムでは、チームの力を最大限に発揮するために必要な「心理的安全性」と「知的謙遜」(自分も持っている知識や情報を把握し、何を知らないかを正しく理解しようとする姿勢)の視点を、現場の“あるある”を使いながらわかりやすく伝えていただきました。

今年度の医療安全推進フォーラムは多くの管理者の方にご参加いただき、「腑に落ちる感覚があった」「元気をもらえた」というご意見もいただきました。安全な医療が提供できるチームづくりのきっかけになれば幸いです。



講師の小林美和先生

*VUCA時代 以下の頭文字をとった言葉。先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態。

- Volatility: 変動性
- Uncertainty: 不確実性
- Complexity: 複雑性
- Ambiguity: 曖昧性

精神科認定看護師制度

延長申請について

や むを得ない理由で認定更新の手続きができない精神科認定看護師は、延長申請を行うことができます。また、新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年1月から令和3年3月の期間内に精神科認定看護師の活動をすることができず、更新申請のときに活動実績ポイントが不足した場合は、特例措置の申請を行うことができます。詳しくは、協会事務局の認定事業担当にご連絡ください。

申請期間: 令和4年1月4日(火)～1月21日(金)
問い合わせ先: 一般社団法人
 日本精神科看護協会
 認定事業担当
 TEL: 03-5796-7033

特定行為研修

第1回 特定行為研修
受講資格審査 出願受付開始！

令 和4年1月4日から、第1回特定行為研修受講資格審査の出願受付が始まります。出願にあたっては、以下の出願要件を満たす必要があります。出願要項や出願書類のフォーマット等は、協会ホームページからダウンロードできます。皆様の出願をお待ちしています。

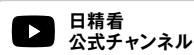
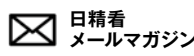
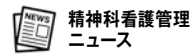
出願期間: 令和4年1月4日(火)～1月14日(金)
 (必着)
審査科目: 書類審査
出願要件: ① 日本国の看護師の免許を有すること
 ② 看護師免許取得後5年以上の実務経験があること
 ③ 受講生の所属施設で実習を実施できること
結果発表: 令和4年3月4日(金)
審査料(税込): 会員 16,500円
 非会員 27,500円
問い合わせ先: 一般社団法人日本精神科看護協会 特定行為研修担当
 TEL: 03-5796-7033
 (平日8時～17時)

お役立ち情報配信中!
見逃し厳禁!
ぜひご登録ください!

いいね! やシェアをお願いします



日精看公式LINEは1面のQRコードよりご登録ください!

日精看
公式チャンネル日精看
facebook日精看
メールマガジン精神科看護管理
ニュース

Message

精神科看護職のつながりが 日本精神科看護協会業務執行理事
精神科看護を変える 窪田澄夫



日精看は精神科看護職の職能団体として、日本の精神科看護職がひとつになることをめざしています。看護職の皆様と、看護管理者の皆様と、日精看47都道府県支部と、日精看本部がつながりを持ち続けることによって、日本の精神科看護の力を強くすることができます。今年もこのことを念頭に置き、さまざまな事業に取り組んでいきます。今年もどうぞよろしくお願いたします。

こころを癒やす

日本精神科看護協会業務執行理事
西館 均



コロナ禍で自粛生活が続くなか、久しぶりに車で海辺に出かけてみました。波音を聞きながら釣りを楽しみ、沈む夕陽と焚き火のゆれる炎を、ぼんやりと、何も考えずにながめました。朝日が昇るとともに目覚め、静けさのなかで大自然の力をたくさんいただき、こころが癒やされる時間を過ごしました。こころの癒やしを、これからにつなげていきます。

Nursing Star

ナーシング・スター No.751 2022年1月1日発行

編集人 宮本 恵理子
 デザイン 堀田沙友里、畔柳江里 (ピーワークス)
 DTP・印刷 ビーワークス
 運営 コッヘル
 発行人 吉川隆博
 発行 一般社団法人日本精神科看護協会
 〒108-0075
 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F
 TEL 03-5796-7033 FAX 03-5796-7034
 URL http://www.jpna.jp E-MAIL info@jpna.or.jp
 広告のお問い合わせ nursingstar@m-s-com.com

©日本精神科看護協会 2022
 本誌記事、写真、イラストの無断転載を禁じます。

次号(No.752)は2022年2月1日発行です。